

IDS 2019 - 1923 年から 38 回目 - 国際記者発表会 横浜

マルクス・ハイバッハ博士
ドイツ歯科工業会（VDDI）専務理事

ご来場の皆様、本日は、第 38 回のケルン国際デンタルショーの記者発表会にご出席いただき、ありがとうございます。
VDDI(ドイツ歯科工業会)の役員会並び顧問会を代表し、皆様を心より歓迎いたします。この記者発表会に皆様をお迎えする事ができ、嬉しく思います。

今日は皆様に、2019 年 3 月 12 日から 16 日の間にケルンで開催するケルン国際デンタルショーをご紹介します。

設立 95 年を迎える IDS は、まぎれもなくデンタル業界の世界的見本市となりました。IDS は最も包括的に歯科技術を展示するマーケットプレイスであり、世界の歯科市場の全てを映し出します。2,300 以上のメーカー、システムソリューション企業や、サービス会社が集まり、ユーザーを支援するために研究者や開発技術者が開発した、前回の IDS 以降のイノベーションの全てを展示します。155,000 人以上の歯科医師、歯科技工士や、歯科医院や歯科技工所のスタッフなどの専門家や、次世代の歯科医師、歯科技工士学校の生徒たち、そしてもちろん世界の歯科専門販売会社が、IDS を他に類例のないデンタル業界のサミットにしているのです。

皆様に 2019 年の IDS を御紹介する前に、国際デンタル見本市の背景にある状況を概観したいと思います。私たちは今何を経験しているのか、そして私たちを取り巻く環境はどんなものでしょうか？

ここで、簡単にいくつかの例をあげたいと思います。21 世紀の世界は、大きな変化が起こっています：

- 政治：政治の世界ではグループが再編成され、大国間で政治的な重心が異動し変化しています。国際政治におけるパワー構造に変化が見られます。
- 経済と貿易：多くの経済圏において、大幅で活発な経済発展が生じています。全ての分野で厳しい競争が繰り広げられていますが、特に医療技術や私たちの専門領域である歯科技術の分野にも厳しい競争が存在します。また貿易障壁や保護関税に関する議論も再燃しており、私たちが既に克服したと考えていたことが、自由貿易に悪影響を与えています。
- 人口の変化：世界の様々な地域で人口増加が見られます。これは政治や経済、医療の提供において大きな挑戦課題となるでしょう。
- 技術の発達：デジタル化が急速に前進し、製品の生産や販売で、私たちの想像を超えるような革新的な変化をもたらしています。医療技術研究の急速な発展によって、イノベーションのサイクルはますます短くなり、ロジスティックチェーンがメーカーや販売会社に求める要求は、より厳しくなっています。

多くの人々や、会社などの組織までもが、変化や変転、現状の破壊に脅威を感じています。そのような変化の中には大きな存在の危機が潜んでいるため、しばしば懸念や不安を引き起こすのです。

しかし変化や変転、現状破壊の時代は、新しいものを開発し、これまで考えられなかったアイデアをサービスや製品として実現する、多くの可能性を秘めた時代でもあります。そのような時代には、**既存の状態に疑問を投げかける必要**があり、多様な新しいチャンスを利用して、進歩に向けて私たち独自の貢献をしなくてはならないのです。

『人生は生きている人間のものであり、生きている人間は、変化が来ることを覚悟しなくてはならない。』と、ドイツの文豪ゲーテは的を射た言葉を残しています。

間断のない変化や研究成果の前進は、世界のデンタル産業においては、特別な形をとって現れます。歯科医療とそのため
に開発される歯科医療技術は、ここ数十年間の嵐のような変化の時代を反映しています。

ドイツのデンタル産業は、100年以上にわたって常に進歩を積み重ね、歯科医師や歯科技工士に信頼されるパートナー
となっています。私たちは、患者さんの役に立つ製品を作る責任があることを知っているのです。

人々の健康を保つためには、世界に開かれた姿勢や自由貿易が不可欠です。歯科医療や歯科技術による患者の治療には、
良い職業教育を受け高いモチベーションを持つ歯科医や歯科技工士の存在が基本となります。歯科医や技工士は協力
して専門知識を駆使し、患者の口腔の健康を維持したり回復したりします。

そのためには、ドイツのデンタル産業が提供する、高い品質の多くの製品が必要なのです。ドイツデンタル産業の製品開
発によって、世界のユーザーが最新歯科医療の多様な治療法の全てを、患者さんに提供できるのです。

ドイツのデンタル産業の製品は100年以上にわたり、品質が高く精密で、特に使いやすく信頼できることで知られてい
ます。

しかし最近では、世界の多くの市場において保護主義的な傾向が強くなり、特に医療技術の製品分野では、外国製品を市場から
締め出す傾向さえも見られます。

常に新しい規制の要求事項が追加され、非常にコストのかかる認証手続きのために、私たちの製品の市場参入が阻まれ、
あるいは不必要に価格を引き上げられています。

私たちの製品は競争上不利となるため、ドイツのデンタル産業は多大な努力を払って不利な条件を乗り越えなければい
けないのです。

このような状況の中、私たちはあくまで自由貿易を求め、国際規格や医療製品技術の法規制を満たす検査済み製品の、

円滑な取引を求めています。

ドイツのデンタル産業はこの挑戦課題に立ち向かい、完成度が高く実績のある製品を今後もユーザーや患者さんに提供するため、あらゆる努力を惜しみません。

ただ、このことを今後も継続的に実現するには、国内や世界における医療政策や経済政策の枠組み条件が、医療産業を促進しその発展を妨げないことが必要です！

IDS - 変化の時代に安定をもたらす強固な存在

過去においても現在も、変化の時代に確固たる安定感を保っているのが、国際デンタルショーです。

次回の IDS は 1923 年の第 1 回から数えて第 38 回目となります。

95 年前から国際デンタルショーは、歯科医療と歯科技術の発展の牽引役であり、発展を測るバロメーターにもなっています。

IDS はあらゆる危機の時代を乗り越えてきました。IDS は、現在可能なこと、将来可能になること、そして次の時代のために現在どんなアイデアがあるのかを包括的に見せる、エキサイティングなショーウインドウなのです。

歯科学と歯科技術の分野は共に技術と密接な関係があり、イノベティブで、達成した成果に満足せず、さらなる進歩を目指します。

技術者や開発担当者は、そのプロセスにおけるパートナーです。同じテーマに向かって、より良い、より効果的な、より洗練された技術の利用法を探します。技術者と開発担当者は、患者さんの健康の維持や回復のため、最良の治療を提供するという願いを共有しています。

自分や自分の会社を世界の競争相手と比べ、世界市場でのポジショニングを考えるには、IDS は最適な場所なのです。歯科医や歯科技工士はここで情報やヒントを集め、歯科医院や歯科技工所の将来の決定に生かす事ができます。

これは、私たちが生きる激動の時代にこそ重要なことです。

ドイツのデンタル産業：IDS の中核であり牽引役

1923 年以來 IDS の中核であり牽引役を果たすのは、過去も現在もドイツ歯科工業会（VDDI）です。VDDI に加盟す

る 200 社は、共通の価値観に支えられた強い共同体を構成し、イノベティブで創造性に満ち、柔軟で、サービス志向、顧客志向です。

サービス志向の姿勢が強く、世界に開かれた姿勢で VDDI の共同体を盛り立てます。この事によって VDDI は世界で存在感を発揮し、成功をおさめているのです。

ドイツのデンタル産業は国内でも世界でも成長

2017 年の時点で、VDDI のメンバー企業 200 社は、国内および外国で合計 20,7000 人以上の従業員を雇用していました。これは 2016 年の雇用数に比べて 3% 近くの増加でした。

2017 年には VDDI のメンバー企業全体でほぼ 53 億ユーロを売り上げ、これは 2016 年との比較でおよそ 5% のプラスとなりました。このうち 34 億ユーロは外国市場での売り上げでした(+5%)。

2017 年の国内売り上げは 19 億 3000 万ユーロで、2016 年に比べて 4.4% の増加でした。アンケートに参加した会員企業の 60% は、2017 年の国内売り上げは 2016 に比べ増加したと答えました。

今年の 2018 年に対する高い期待は、現在も変わっていません。アンケートに参加した企業の 53% は売り上げ増加を見込んでおり、45% は去年並みの売り上げを予測しています。

外国でのビジネスはほぼすべての地域で大幅な成長

ドイツのデンタル産業の 2017 年の輸出割合は約 64% でした。世界市場が私たちの業界で持つ意味と、ドイツのデンタル産業が世界市場で占めるポジションは、この数字に印象的な形で表れています。

アンケートに答えた企業の半数近くが、外国市場での売り上げが伸びていると答えています。またほぼ 40% が、外国での売り上げは 2016 年並みだとしています。

売り上げで最も重要な地域を概観

- 国内市場に並んで最も売り上げが多い地域は西ヨーロッパで、これは今も変わりません。アンケート参加企業の約 53% が、2017 年の売り上げは増加したとし、36% は 2016 年並みの売り上げたとしています
- 極東地域においては会員企業の 55% が売り上げを増やし、3 分の 1 の企業は前年並みの売り上げでした。

- 東ヨーロッパの売り上げは、2016年に比べ格段に増えています。VDDIの質問に答えた企業の51%は、2017年の売り上げは増加したと答えました。また40%は前年と変わらない売り上げでした。
- 北米市場で行った委託アンケートに参加した企業の46%が、ビジネスを拡大する事ができました。また39%の企業が2016年レベルの売り上げでした。
- 2017年の中近東市場においては、45%の企業が売り上げを伸ばす事ができました。41%の企業では2017年の売り上げも2016年並みで安定していました。
- アンケート結果によれば、中南米市場は他の輸出市場に比べ、売り上げの伸びがいくらか弱い傾向でした。アンケートに参加した企業のうち、売り上げを伸ばした企業は3分の1に過ぎませんでした。ただ、58%の企業はこの地域において安定した売り上げをあげることができました。また9%の企業では輸出額が減少しました。

まとめ：国内ビジネスも外国ビジネスも、ドイツのデンタル産業の成長に寄与しました。

さらに2018年の国内外の販売についても肯定的な予想が出ています。VDDI加盟企業の3分の2近くが、海外売り上げの伸びを予想しています。またアンケートによると、加盟企業の半分は、2018年の国内売り上げが増加すると予想しています。

私たちは母国であるドイツ国内および世界の市場でのデンタル産業の売上額を、嬉しく受け止めています。しかし毎年増加する売上は、市場全体の状況を反映しているわけではありません。

デンタル産業の売上は増えましたが、利幅は明らかに小さくなっているのです。デンタル産業の輸出割合は64%です。競争が厳しい世界市場で現在活動し、今後も長期的にビジネスを続けたいと考える全ての企業は、製造設備やロジスティック、またエンドユーザーとのコミュニケーションのために、多額の投資をしなければならないのです。

私共の組織VDDIの加盟企業がIDSの中核を構成していることは嬉しいことであり、誇りを感じます。

ケルンで隔年開催されるIDSは、VDDIが設立したGFDI（有限会社 歯科産業振興協会）が主催し、ケルンメッセが運営します。

世界のデンタル産業や国際的な歯科専門販売会社がIDSの成功に大幅に寄与していることを、私たちは嬉しく思い、感謝しています。世界中からやってくるメーカー—各社が、IDSをデンタル業界の2年に一度の一大イベントにしているのです。

2019年のIDSに向けて

IDS は比類のない個性を備えたブランドです。IDS というブランドの中核にあるのは、伝統としての世界に開かれた姿勢と、オリンピック的な理念です。それは、「IDS はデンタル業界における世界の主導的見本市であり、イノベーションと市場トレンドのプラットフォームとして、持続的な成功を保証する」というものです。この言葉は、見本市のブランドとしての、IDS の位置づけを表現しています。出展者も来場者も、また専門バイヤーも情報収集に来た人も、見本市に対して持っているそれぞれの目標を達成できるような、公平なチャンスを用意するべきだと考えています。

2019年のIDSに向け、今のような新製品やトレンドが予測されるか？

2019年の国際デンタルショーは、歯科医療と歯科技術を動かすでしょう。いくつかの主要なトレンド分野では、今から業界に動きが感じられます。

世界のデンタル業界のトレンド

- 世界的なトレンドの先頭にあるのは、デジタルワークフローの改善と、3D プリント技術など、アディティブな製造技術です。
- アナログ技術は現在もなお、歯科技工所や歯科医院において必須の、基本となる技術です。- 例を挙げれば、口腔内スキャナに並行して、古くからある型取り材料も目覚ましい発展を遂げています。特に A-シリコンはより汎用性が高まって使いやすくなり（例えば歯にかぶせる補綴(ほてつ)にも、インプラント用の義歯にも幅広く使用可能）、またポリエーテル樹脂は、硬化速度がさらに改善しました。
- またこれまでは（ほぼ）完全にアナログで行われていた歯科医療の分野にも、デジタルの技術が入ってきました。例えば、矯正歯科、総入れ歯、歯内療法など分野がこれにあたります。

歯科医師とそのチームにとって興味深いテーマ：

- 歯内療法の治療は、ソフトウェアのサポートによって作業計画を立てやすくなり一根治療用ファイルのためのガイディング・テンプレートまでも(インプラントにおける切削テンプレート同様)可能になりました。
- プロフェッショナルな予防歯科においては、これまで成果をあげてきた伝統的手法(ハンドキュレットによるスケーリングやルート・プレーニング、超音波システム、パウダー研磨装置)に加えて、滅菌と表面の汚染除去のためのオプションとして、ダイオードレーザーが使用されます。
- 将来の歯周病治療の分野で見ておく意味があるものとしては、歯肉縁下の器具操作で強みを発揮する小さな先端用チップや、再インスツルメンテーション用の低研磨性パウダー、また最新のソフトウェア（1本の歯で6箇所まで、歯周ポケットの深さやアタッチメント

ロスのデータを記録、場合によっては歯根分岐部の関連データを含む、歯周病ステータスと時間的経過の完全な記録が可能) などがあります。

- 補綴の分野では、高い硬度を持つガラスセラミックスの新材料（例えばリチウムダイシリケート、酸化ジルコニウムで強化されたリチウムシリケート、あるいはポリマーを侵したマイクロストラクチャの長石系セラミック等の、ハイブリッドセラミック）など、選択肢が広がっています。新材料の目的は、ストラクチャーセラミックスに比べてより半透明で、オパール様の乳白色を持ち、同時により硬度の高い材料を作って、ブリッジ分野での適用を広げることです。材料や患者の症状によっては、CAD/CAM 技術を用いて歯科医院内で補綴物を制作するオプションも可能です(ワークフローの概略：口腔内スキャン→モニター画面上で設計→研磨装置で CAM 技術により製造)。
- 口腔内スキャナは、今もイノベーションが旺盛な領域です。この分野でも小型化の傾向がさらに進んで使いやすくなり、一部ではパウダーフリーになっています。身振りや声でコントロールできる機種もあります。

歯科技工士及び技工所チームにとって関心の高いテーマ

- 歯科技工所は、「問題解決の場」に変わってきています。歯科技工士はインプラント治療におけるバックワード・プランニングのパートナーとして、歯科医とより緊密に協力して仕事をするようになってきました。適切な土台の材料を提案し、審美的にふさわしい材料を選び、希望があればレイヤーセラミックやマルチレイヤーテクニク用のセラミックを選ぶなど、多くの提案を行います。
- 補綴用材料の種類はますます多くなっています。切削加工やプレス用のブロックの種類が増えて、カラーバリエーションも多くなり、義歯内部で色の調整ができる材料や、熱可塑性ポリマー（例えば PEEK）や、短期/長期の仮歯制作のための 3D プリント樹脂などもあります。
- 総入れ歯制作はこれまで殆んどアナログ作業が中心でしたが、デジタル技術を使ったコンセプトが歯科技工所の製造技術の選択肢をさらに広げます。
- 復元のための補綴物の、CAD/CAM 技術を使ったサブストラクティブな加工技術はさらに進んでいます。これに加えて 3D プリント技術などのアディティブな製造技術も注目されるようになり、選択できる加工技術の数は増えています。

歯科医師と歯科技工士のチームにとって関心の高いテーマ

- デジタルの加工技術は歯科矯正にも助けになっています。例えばバーチャルモデルを使えば、診断上の疑問を解決するだけでなく、バーチャルセットアップを行う事ができ、矯正装置の設計さえも可能です(例：固定装置)。
- 歯科医と歯科技工士のチームワークの形は、「完全なアナログ」と「完全デジタル」の間にある多数の選択肢の中か

ら決まります。その際には、臨床的なあるいは経済的な諸条件のバランスをとりながら、ワークフローにデジタル技術を採り入れて日々の仕事をサポートします。

- 3D プリンタは、デンタル業界を根底的に変える「ゲームチェンジャー」とされています。- 新しい使用領域や、新しい形のチームワーク、新しいビジネスモデルが生まれています。

当然ながら、この場で興味深いトレンドを全てあげることはできません。すなわち、2019年の3月12日から16日にケルンで開催される国際デンタルショーに来ていただく理由は、このほかにもたくさんあるということです。なぜならIDSは、歯科医療分野のプロセス技術、ワークフローや製品全てを、包括的に見渡すことができる見本市だからです。

IDS - ヨーロッパに開かれた扉であり、世界に開かれた扉

IDSはヨーロッパ市場への扉を開くだけでなく、ヨーロッパ以外の第三国とのビジネスの大きなチャンスも開いてくれます。世界からやってきたバイヤーがケルンに集まり、自分の国の顧客のために製品を買い付けます。バイヤーはユーザーとデンタル市場をよく知っており、ケルンのIDSで見て試してみた製品を、商談を経て市場に供給するのです。

2017年の第37回IDSでは、日本からは32社に出展いただき、2,080人の来場者をお迎えすることができました。ただ2015年のIDSに比べると、日本からの参加者数はいづらか減りました。しかしデンタル業界にとって、世界のマーケットプレイスであるIDSの魅力は大きく、来年は日本からの参加が増えると確信しております。

次回のIDSの概要を聞かれて、皆様のIDSに対する関心が増したことを祈っております。ご出席の皆様やそれぞれのメディアの読者の方々が、2019年のIDSにケルンに来たいと思っていただけたら嬉しいです。

皆様のお越しをお待ちしております！